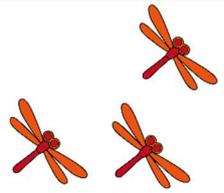


令和6年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年9月6日(金)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

じよ
恕

“怒”ではないですよ(^_^;)



きょう ぜんきまつ しゅうりよう つか
今日で前期期末テストは終了!お疲れさま!

ところで、登校時に二宮金次郎のようにプリン
トに目をやりながら階段を上っていたあなた、上
の掲示物、どこにあったか気づいているかな?夏
休み明けの集会で、生徒会本部役員が伝えてく
れた「心のコップ」の話、どんな形であなたの
心に残ったか気になったので改めて(*^_^*)

「学校」に限らず、たくさんの方が集まって生
活していると、一人ひとりの「モノ」「コト」への
「感じ方」や「受け止め方」は全く同じとは限ら
ないですね。「己の欲せざるところ人に施すこと
なかれ」という格言があります(“己所不欲、勿施
於人也。”3年生ならわかるかな?)。「自分がさ
れてイヤなことは他人にしてはならない」という意
味だと説明されています。ときおり、これを逆手に
とって「このくらいのこと自分はされても平気だし、
文句を言うほうがおかしい」と、屁理屈をこねる

人もいますが、それはとんでもない間違いです。
なぜなら「己の欲せざる……」の出典元の
「論語」に次のようにあるからです。

子貢問曰、有一言而可以終身行之
者乎。子曰、其恕乎。己所不欲、勿
施於人也。

一般的な知識ならインターネット検索で確か
められる時代なので、今日のポイントだけ。

「恕」とは、「相手の身になって思い・語り・
行動すること」だと説明されます。そして、それが
できるようになるための入り口として示されたの
が「己の欲せざる……」という行動です。めざし
ているものはもっとレベルが高くなっていきます。

そういえば、前期中間テスト返却時、ある教
科の先生が1年生に向けてこんな話をしていま
した。

……テスト結果の受け止め方は、人によって違う
もの。目標に到達した人はうれしいし自慢したいと
思うかもしれないけれど、その出し方によっては、周
りの誰かを傷つけたり不快な気持ちにさせたりする
こともあるんだよね。だから、周りの人の気持ちも
考えながら行動してほしいなあ、と思います……

大切な話をしてきているなあ、と思ったもの
でした。

ちなみに、この「恕」というのは、2500年以
上も前から「人として大切なこと」として伝えら
れてきたもの。バッチリカンペキにやりきることは
オトナにとってもなかなか難しいことですが、
「相手のことを考える行動」の入り口として、ま
ずは、お互い相手の「心のコップ」をイメージし
てみるころからはじめてみませんか(*^_^*)